半場川散策路

安城ARナビ（スマホ・ナビゲーション）

安城ARナビは、安城市内の史跡や名所を、まち歩きするための、
スマホ・ナビゲーションアプリです。
さあ、道に迷わず、安城の魅力を再発見！

① インストール　ios　Android

② 「コース」から「半場川散策路」を選択
③ 「コースを開始」を選択し、ナビスタート！

歴史の散歩道「半場川散策路」（～丈山、弥厚の里めぐり～）

学甫堂（丈山文庫内）

学甫堂は、和泉町出身で戦国末期から江戸初期の武士・文化人だった石川丈山が、書斎として用いた建物を移築したものです。脇には、丈山の遺品とされる石燈籠とつくばい（手水鉢）が据えられています。見学は5人以上で、事前の予約が必要です。

電話 0566-77-4477（教育委員会文化振興委員会）

明治郵便局局舎及び官舎

明治44（1911）年に、旧明治村（安城市南部と碧南市、西尾市の一部）の郵便局として開局し、昭和42（1967）年まで郵便集配、預貯金、保険、電信電話業務を行っていました。鬼瓦には、郵便を示す「〒」の記号がデザインされています。隣接して、職員の官舎も残されています。

本龍寺

応仁2（1468）年、本願寺8世蓮如に帰依した樋口正広が開いた念仏道場が始まりと伝えられます。明治用水の功績者都築弥厚は、豪壮な山門（焼失）を寄進するとともに、彼の墓所が境内にあります。鐘楼脇には、戦時下に金属供出した梵鐘の代用品が置かれています。

和泉の道しるべ

「右にしを」「左をかざき」と刻まれています。右（東）に行く道は、刈谷道と呼ばれ、刈谷から道しるべのように西尾へ続いていました。左（北）への道は岡崎へ続きますが、本来は20mほど東にあり、現在の道路は昭和初期に造成されたものです。

明祥公民館

・会議室、卓球などのスポーツができる多目的ホール、図書室、学習コーナーがあります。
・テニスコート、グラウンド・ゴルフコースがあります。

デンパーク

安城市域は、かつて先進農業地域「日本デンマーク」と呼ばれていました。デンパークの名称は、この日本デンマークの「デン」と田園風景の「デン」等に由来し、自然や農業と親しみ、花のある暮らしを提案する公園です。平成9（1997）年に開園しています。

和泉八剱神社

伝承では、創建は応仁年間（1467～69）とされます。かつては現在地の北にありましたが、江戸時代の正徳年間（1711～16）に遷座し、社殿を造営しました。明治時代の神社整理政策により、境内には社口社、稲荷社、山神社、神明社、御厨社、田扇社、秋葉社が合祀されています。

弥厚公園

江戸時代に酒造業を営んでいた都築弥厚は、用水によって碧南台地を水田化する計画を立てましたが、実現できませんでした。彼の計画は後に明治用水となり、この地域の発展に大きく寄与しています。弥厚公園は、その業績をたたえ、大正7（1918）年に造られました。

丈山苑

石川丈山は、戦国末期から江戸初期の武士・文化人で、天正11（1583）年に丈山苑の場所で生れました。16歳から徳川家康に仕え、後半生は京都の詩仙堂に隠棲しています。晩年、帰郷を望むも果たせなかった丈山の故郷に、詩仙堂を模した丈山苑を造り、その魂に応えています。

三河地震慰霊碑

昭和20（1945）年1月13日未明の三河地震によって、和泉では88人が犠牲となりました。しかし、当時は戦時下にあり、煙の出る火葬が出来なかったため、この場所に遺体を並べて土葬したのです。十三回忌にあたる昭和32（1957）年、遺族がこの慰霊碑を建てました。